

令和6年度 いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議

日時: 令和7年1月15日(水) 16時~17時15分

場所: ホテルニューカーリーナ 2階 アイリス

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 報告
令和6年度の構成団体の取組紹介
- 4 「いわてデジタルトランスフォーメーション大賞2024」の発表・表彰
- 5 閉会



令和6年度いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議 出席者名簿

(敬称略)

	所属	職	氏名	備考
会長	岩手県	知事	達増 拓也	
副会長	岩手県商工会議所連合会	会長	谷村 邦久	
	岩手県情報サービス産業協会	会長	法貴 敬	
	公立大学法人岩手県立大学	学長	鈴木 厚人	
委員	岩手経済同友会	代表幹事	岩山 徹	(代理)専務理事・事務局長 中島 勝志
		代表幹事	畠山 大	
	岩手県商工会連合会	会長	高橋 富一	(代理)企業支援グループ主任 山口 亮
	岩手県中小企業団体中央会	会長	小山田 周右	欠席
	岩手県経営者協会	会長	石塚 恭路	(代理)専務理事 藤田 芳男
	岩手県銀行協会	岩手銀行取締役 常務執行役員	岸 真英	(代理)常務理事 及川 崇
	岩手県信用金庫協会	会長	浅沼 晃	欠席
	岩手県農業協同組合中央会	代表理事会長	伊藤 清孝	欠席
	岩手県森林組合連合会	代表理事会長	中崎 和久	欠席
	岩手県漁業協同組合連合会	代表理事会長	山崎 義広	欠席
	岩手県建設産業団体連合会	会長	向井田 岳	(代理)常務理事 村上 純也
	国立大学法人岩手大学	学長	小川 智	(代理)研究・地域連携部長 濱田 秀樹
	岩手県市長会	会長	山本 正徳	(代理)事務局長 古館 和好
岩手県町村会	会長	鈴木 重男	欠席	

1. 岩手大学

理工学部2025年度改組-専門性とデータサイエンス応用力を併せ持つ人材育成 (岩手大学)

【取組の概要】

・ 岩手大学理工学部はSDGsが謳われる前から、「ソフトパス理工学」を標語に、持続可能な社会の構築を目指してきました。今回の改組では、ソフトパス理工学教育をさらに強化するとともに、専門性+データサイエンス応用力を身に付けてもらうことで、専門性をより広範に展開できる人材を育成します。さらに、**情報分野の教育研究を拡充するために、クリエイティブ情報コースを新設**します。

改組のトピックス

- ★3学科8コースから1学科8コースへ再編。2年次コース選択の柔軟化
- ★デジタルメディア、UX/UIデザイン分野で活躍する人材育成を目指す「クリエイティブ情報コース」新設
- ★データサイエンス応用力を要請するデータサイエンス応用副プログラムの導入

学科	コース	コースの説明
理工学部	科学コース 【学士（理工学）】	革新的な電池やグリーン水素による脱炭素社会の実現、産業を支える新素材や疾病を治療する医薬品の開発、生物多様性保全に向けた取り組みなどの持続可能社会の実現に向け活躍できる人材を養成します。
	数理・物理コース 【学士（理工学）】	自然界の法則を探究する現代物理学と科学の基盤である数学を学び、関連する理工学分野の発展に貢献する人材を養成します。
	材料科学コース 【学士（理工学）】	金属生産プロセス、リサイクル技術、新機能材料、材料評価技術の開発に貢献できる技術者・研究者の育成を目指し、材料科学分野の専門的知識と産業応用に繋がる工学的技術を学びます。
	知能情報コース 【学士（情報学）】	コンピュータとネットワーク、および、社会の知能化に貢献するAIと情報システムの専門知識・技術を学びます。
	クリエイティブ情報コース 【学士（情報学）】	コンピュータとネットワークの基礎、ビッグデータの整理・統合、人とコンピュータをつなぐインターフェースデザインなどを融合させた専門知識と、専門知識を活用した新たな情報創造技術を学びます
	電気電子・情報通信コース 【学士（工学）】	電気電子・情報通信に関する基礎的な知識や応用力を備え、持続可能な社会に貢献できる専門技術者を目指し、情報通信・電子システム、電子デバイス、電気エネルギーの各分野について学びます。
	機械知能航空コース 【学士（工学）】	自動車、ロボット、航空機開発など、さまざまな機械分野で活躍できるエンジニアを目指し、設計・製図や力学などの機械工学の基礎知識とプログラミングやデータ処理・可視化・最適化などの情報処理技術の応用を学びます。
	社会基盤・環境工学コース 【学士（工学）】	「安全・安心な社会の構築」と「人と環境にやさしい持続可能な社会の創出」を担う技術者・研究者の育成を目指し、環境工学、建設工学、防災工学の各分野を学びます

岩手大学DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野高度専門人材養成プログラム (岩手大学)

文部科学省・「大学教育再生戦略推進費 デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～」

令和6年8月採択 令和8年度4月入学生より適用

「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～とは」

☞ 人文・社会科学系等の分野に、数理・データサイエンス・AI(MDA)などの情報学分野の教育を掛け合わせた実践的な学位プログラムを構築し、社会ニーズを踏まえた高度で文理横断的なデジタル人材を育成する取組

①岩手大学DX of Education[DX.E] 教育実践学×情報学分野高度専門人材養成プログラム 事業概要

☞ 本事業では岩手県教育委員会や企業との共同研究実績を有する教育学部、特に高度専門人材の養成(リーダーの育成)が求められている教職大学院における「**教職実践学と情報学を掛け合わせる指導プログラム**」を行政・企業と共同開発・実践することを通して「**高度な教育実践力×MDA素養(知識・技能、マインド)**」を備えた学校教員の育成を行う。

②教育プログラムの内容

1) 専攻共通科目(必修)における教育実践学×情報学の融合 **4科目6単位**

- ・データサイエンス実践演習(1単位) NTTコミュニケーションズ東北支社、ドコモbs岩手支店と共同
- ・学校におけるAI活用とDX実践演習(1単位) 岩手県立総合教育センター、NTT東日本と共同
- ・ICTを活用した授業づくりの理論と実践(2単位) 岩手県立総合教育センター、岩手日報社と共同
- ・教育データ活用による教科指導と評価(2単位) NTTコミュニケーションズと共同

2) 岩手大学大学院教育学研究科MDA科目群アラカルト方式 **8科目10単位**

- ・教育のデータリテラシー(2単位)
- ・データサイエンスを活用した教育実践研究基礎論(1単位)
- ・情報通信技術を活用した小規模学校教育(1単位)
- ・教育行政におけるデータベース活用(1単位)
- ・教科等指導におけるデジタルアーカイブス活用(1単位) 岩手日報社と共同
- ・学校教育と情報倫理・情報モラル教育(1単位)
- ・学校における情報セキュリティ(1単位) 本学「情報基盤センター」教員と共同
- ・学習支援のための教育心理学(2単位)

専攻共通科目	データサイエンスの基礎を演習で身に付ける	AIの活用について演習を通して考える	ICTを活用した授業力の高度化を図る	プログラム共通科目・MDA科目群 岩大アラカルト方式 個別最適化
教育の基本的な5領域 1. 教育課程の編成・実施に関する領域 2. 教科等の実践的な指導方法に関する領域 3. 生徒指導、教育相談に関する領域 4. 学校経営、学級経営に関する領域 5. 学校教育と教員の在り方に関する領域 □ 全20単位内4科目6単位	人流ビッグデータを地域創生教育として活用する	DXワークショップを活用し学校DXを考える	教育データを利活用して学習指導と評価の高度化を図る	自分に必要な科目、もっと深めたい知識や伸ばしたい技能、足りない知識や技能を補いたい院生の個別ニーズに応える科目群を 全8科目10単位 を提供
				学校における情報セキュリティ 教科指導等におけるデジタルアーカイブス
			個別最適	他

デジタル修了証「オープンバッジ」に新デザインを導入（岩手大学）

令和5年度より、本学が提供する学習プログラム等の修了者に対してデジタル修了証である「オープンバッジ」を発行しています。

オープンバッジは、取得した知識やスキルを証明する国際的なデジタル証明書で、獲得した知識やスキルを可視化・証明でき、今後の学習計画やキャリア設計に役立てるとともに、就職活動等での自己アピールのツールとして活用することができます。

この度、オープンバッジの更なる普及・利用促進のため、新デザインの導入を決定いたしました。新デザインは学内カンパニー「+DESIGN」の学生がデザインしたものです。

オープンバッジとは、知識・スキル・経験のデジタル証明です。

欧米を中心に大学や資格認定団体、グローバルIT企業が多く、オープンバッジを発行しており、日本でもさまざまな団体からの発行がされています。国際標準規格としてのオープンバッジは、取得した資格や学習内容を目に見える形にし、受検者や受講者を増やすデジタルマーケティングツールにもなります。

学内カンパニー「+デザイン」制作のオープンバッジ新デザイン



学内カンパニー「+デザイン」の学生と小川学長

大学運営業務におけるDXの推進（岩手大学）

岩手大学は2020年度からRPAやチャットボットの導入による業務の効率化・サービス向上に取り組んできましたが、デジタル技術を活用した業務運営方法の導入を大学全体で推進するため、**2023年4月に「業務運営DX推進プロジェクトチーム」を設立**しました。

また、DX推進の理念・目的を全職員で共通認識とし、一体となってDX推進に取り組むために、同年5月には「国立大学法人岩手大学における業務運営のDX推進に係る方針」を策定しました。

取り組みの成果として、サイボウズ株式会社が提供する**ノーコード・ローコードで業務アプリを作成できるクラウドサービス「kintone」の導入**により、電子決裁システム、講義室の予約・管理システム、学内規則集システムなど、様々な業務改善アプリの開発・試行が行われ、**2024年度からは電子決裁システムが全学的にその運用をはじめています。**



Kintoneトップページ



電子決裁システム画面イメージ

2. 岩手県商工会連合会

企業の生産性向上・高付加価値化に向けたデジタル化支援 (岩手県商工会連合会)

人口減少による人手不足等への対応として、会員企業の生産性向上・高付加価値化に向け、当該企業と共有した経営課題に基づき、事業計画の策定・実行支援を行う。デジタル化により解決可能と思われる内容について、積極的提案や取組の支援を行う。

事業計画策定支援・計画実行推進・フォローアップ支援

目的

事業計画の策定や実行支援を通じて企業の経営力向上・高付加価値化・生産性向上を推進

支援スキーム

柔軟な段階に
対応した
支援
の
段階
に
対応
した
支援

①支援対象企業の掘り起こし（巡回・窓口相談・事業計画策定セミナー等）

②現状分析を通じた経営課題の認識（対話と傾聴による気づき、個別相談・専門家派遣）

③経営課題解決に向けた目標設定（経営革新テーマ、新事業の方向性等の設定）

④事業計画の策定支援（経営革新計画、アクションプラン等）

⑤計画実行支援（フォローアップ支援・課題解決・進捗管理・支援施策活用・専門家派遣等）

いわてビジネスイノベーションアワード

- ◆優良企業発表・優良支援事例発表・表彰
- ◆優れた取組事例等の共有化による企業への波及
- ◆伴走型支援能力の向上・関係機関連携強化



【活用支援施策】

ものづくり補助金 小規模事業者持続化補助金 IT導入補助金 省力化投資補助金 事業承継補助金 事業再構築補助金 賃上環境整備事業費補助金 他

企業の生産性向上・高付加価値化に向けたデジタル化の提案強化



会員企業の労働生産性の向上

1. 会員の要求水準に合わせた専門家の確保と支援効果の向上

- (1)デジタルツール導入、活用支援
事業計画策定支援等を通して、経営課題の解決策としてデジタルツールの活用が有効である場合、最適ツールの導入・活用支援を行う。
- (2)SNS等情報発信支援、E C サイト構築支援

2. 各種セミナーの開催によるデジタル化の効果等の啓発強化

- (1)DXセミナーの開催
- (2)デジタルツール活用セミナーの開催
- (3)SNS等情報発信ツールセミナーの開催



会員サービスのデジタル化・DX

3. 会員への情報伝達方法の改善

商工会アプリの普及推進による迅速な施策情報の発信

4. 会員に対する支援内容の見える化

経営指導員等が携帯性に優れたノートPCの活用により企業との間での円滑な支援内容の共有、迅速な課題解決に向けた支援を行う

5. クラウド会計システムの普及とシステム連携による業務効率化

クラウド会計システムとAI自動仕訳、FinTech等の機能活用、インボイス対応システム等の連携支援により業務効率化を支援

公式アプリ 配信開始!



経営に役立つ情報をスマホにお届け!

- 支援体制 経営指導員等 広域経営指導員等（県連） 専門家（ITコーディネーター・中小企業診断士等）
- 外部連携 岩手県中小企業デジタル化支援ネットワーク・中小機構・ITベンダー等

漆芸美術館の無人開錠システムによる遠隔管理

事業所の課題：事業者は商品の製造中、出張等による不在中の美術館入館対応ができないことなどの人手不足への対応

課題への対応：スマートロック、防犯カメラを利用して無人での漆芸美術館への入館を可能とする

(1) 漆芸美術館への入館の流れ

① 漆芸美術館への入館申込み・精算については、美術館の入り口QRコード・ICカードリーダー等による無人決済

② 決済確認後、スマートロックの開錠

●スマートロックでの開錠システムについて

同町の地域おこし協力隊と連携し、システムの構築を実施。比較的安価に対応が可能となる「ラズベリーパイ」を使い、入館料決済確認後、数分でスマートロックが作動し、開錠となる。

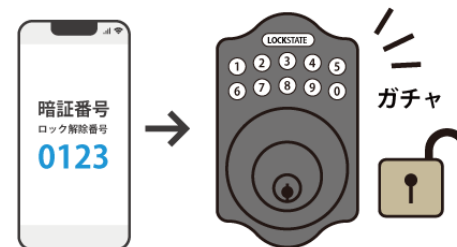
※「ラズベリーパイ」とは、最低限のCPUや入出カインターフェース、コネクタを付けた小型コンピュータで、IoT等に活用できる

(2) 館内の防犯システムについて

漆芸美術館の内外に設置した、防犯カメラにより展示している秀平塗等の古美術品を盗難や破損から守るため、PC・スマホ等によりリアルタイムで監視を可能とする。



決済情報とスマートロックの連携を可能に。



※上記のスマートキーはイメージです。



「点呼ロボット導入」によるボトルネック工程の改善

点呼業務流れ	ロボット導入前	ロボット導入後	備 考
1.免許証チェック	乗務前点呼 10分×5人 = 50分	乗務前点呼 8分×5人 = 40分	乗務前点呼について 現状、乗務前点呼は完全ロボット化が認可されていないため、 ロボット+人 による対応。 1日15分人時削減 。 ※点呼業務10分+記録簿作成5分 近い将来、完全ロボット化が許認可される予定。
2.アルコールチェック			
3.車両確認			
4.疾病・疲労等の体調確認	乗務後点呼 10分×5人 = 50分	乗務後点呼 1分×5人 = 5分	乗務後点呼について 完全ロボット化することにより、 1日50分の人時削減 に繋がる。 ※点呼業務45分+記録簿作成5分 点呼記録簿について 自動記録のため業務の必要なし。
5.睡眠状況の確認			
6.日常点検の状況			
7.指示伝達事項	5分×2 = 10分	0分	1日当たり約110分かかっていたが、 65分削減 の効果あり。
8.点呼記録簿の作成			
合計	約110分	約45分	



Kebbi Air



e点呼セルフ



免許証リーダー



ALC-Mobile II



(1) 目的

岩手県内の企業、各種団体等のDXにつながる取組事例を広く募集し、優良事例を表彰するとともに、その事例を広く紹介することによりデジタル化に関する取組の更なる普及を図り、本県のDX推進に寄与することを目的とする。

(2) 募集対象

岩手県内で事業活動を行う企業、法人及び団体並びに各自治体

(3) 募集分野

- ・デジタル技術を利用した業務効率化や、働き方改革、レガシーからの脱却、企業・地域の風土改革に資する取組
- ・令和6年9月までに実施し、各産業や行政及び地域活動等において成果が出ている取組

(4) 募集期間

令和6年7月26日～令和6年11月8日

(5) 審査

DXに関する有識者で構成する選考委員会において、下記の基準に基づき審査を行い、表彰対象を決定

- ① 取組による効果
- ② 創意工夫や先進性
- ③ 他事業等への波及の可能性や地域活性化への期待



(6) 応募一覧 (10団体)

※応募順

	応募団体〔取組名称〕	取組の概要
1	成和建設株式会社(花巻市) 〔勤怠管理システム(タイム君)の自社作成管理〕	勤怠管理システムの自社作成管理による業務効率化
2	大船渡市 〔DXを通じた人材育成～デジタル創生研究プロジェクト・チームとDX人材育成塾2024～〕	・プロジェクトチームを立ち上げるなど人材育成の取り組み ・プロジェクトチームによる書かない×ワンストップ窓口の整備
3	板谷建設株式会社(奥州市) 〔社内ペーパーレス化〕	フジフィルム製の高機能複合機と連動するDocuWorks を導入し、ペーパーレス化を進めた。
4	岩館電気株式会社(盛岡市) 〔社員の成長と幸福のためのDX:岩館電気の変革〕	・ITインフラの整備による業務効率化 ・独自ポータルIeDX による自動化と見える化 ・IoTデバイスの活用によるデジタル化
5	株式会社邑計画事務所(盛岡市) 〔画像認識AIを用いたアンケートの自動集計〕	AIの画像処理技術を用いて、手書きの『○』の位置を自動認識させるツールを開発。入力に係る作業時間の短縮及び費用軽減の実現を目指した取り組み
6	岩泉町 〔広報いわいずみにおける公式LINEの活用〕	取材日程調整、読者からの投稿、発行日のお知らせ等でLINEを活用

	応募団体〔取組名称〕	取組の概要
7	株式会社アイディーエス(奥州市) 〔アイディーエスDX推進の取組み・地域企業への展開 構想〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ GitHub Copilotを活用した生産性向上 ・ Microsoft365Copilotを活用した営業事務のDX推進 ・ 新技術の取組み、AIコミュニティの取組み
8	信幸プロテック株式会社(矢巾町) 〔現場が自ら変革できる仕組みをつくる、信幸プロテックの 取組～ノーコードツールを用いた全業務のシステム化～〕	kintoneによる業務システムの内部制作による全業務のDX推進取組み
9	KDDI株式会社東北総支社(仙台市) 〔「三陸いきものクエスト」による生物多様性の可視化に ついて〕	いきものコレクションアプリ「Biome」を用いて、青森県八戸市種差海岸から岩手県宮古市石浜漁港まで区間において生物多様性の可視化を企画、実施
10	奥州市 〔各総合支所を結ぶオンライン面談窓口〕	行政手続などの相談をオンラインで行える「オンライン面談窓口」を各総合支所に整備